熊本市中央公民館開館記念事業

～小津安二郎映画を聞く～

音語り

「東京物語」

■朗読 中井貴恵

出演：中井貴恵（朗読）、松本峰明（ピアノ）

日時 2019年 7月 21日 (日) 13時開演（12時30分開場）

会場 **熊本市中央公民館** 7Fホール
（熊本市中央区草葉町５番１号）

料金 全席自由席 1500円（前売）※当日 300円UP

●チケット販売
中央公民館事務所 ☎096-353-0151
チケットどこさ ☎096-288-4635
熊日プレイガイド ☎096-327-2278

主　催：白川公園複合施設管理運営共同企業体
後　援：熊本日日新聞社、FM791
協　力：オンザフィールド、松竹株式会社

●お問合せ
熊本市中央公民館 ☎096-353-0151
※月曜日休館（祝日の場合翌日）

音語りとは

中井貴恵が、音楽家とのコラボレーションで朗読する「音語り」。その中でも精力的に取り組んでいるのが、小津安二郎映画を聞くシリーズです。映画の出演者はもとより、ナレーション・ト書きまでを一人で演じ分ける上演スタイルは、今までにない朗読公演として高い評価を得ています。2009年に「音語り｜晩春」を上演して以来、新作に取り組み、現在は、「晩春」「秋日和」「東京物語」「お早よう」「秋刀魚の味」「麦秋」全6作品のシリーズとなっています。幼少のころ、小津監督から孫のように可愛がられていた中井貴恵にしか出来ない朗読公演です。ジャズピアニスト松本峰明が映像的な生演奏で参加し、さらにイメージが広がる仕上がりとなっています。

原作

映画「東京物語」松竹株式会社（1953年）
監督：小津安二郎
脚本：野田高梧・小津安二郎
製作：山本武

■あらすじ
終戦から8年を経た夏、尾道に暮らす周吉と妻のとみは、子供たちが暮らす東京に向けて旅立つ。久しぶりの再会を楽しみに出かけた夫婦であったが、子供達もそれぞれの暮らしに精一杯で、思うように面倒をみる事が出来ない。そんな中、戦死した次男昌二の妻紀子だけが、親身になって二人の面倒をみるのだった。一抹の寂しさを感じながらも、子供達の自立した姿に満足気な表情で尾道への帰途に就く老夫婦。その数日後、母とみの危篤を知らせる電報が届き、急ぎ尾道に駆け付けた子供達と紀子に見送られてとみは亡くなる。葬儀の後すぐに母の形見分けの話をし、そそくさと帰っていく兄や姉の姿に末娘の京子は憤るが、そんな京子に紀子は、それぞれの暮らしがあるのだと静かに諭す。皆が帰ってしまった後、周吉は妻に先立たれた寂しさを、ひとりかみしめるのであった。

小津安二郎監督と幼い日の中井貴恵

プロフィール

■中井貴恵（女優　エッセイスト）

1978年映画「女王蜂」でヒロインデビュー。1982年映画「制覇」で日本アカデミー助演女優賞を受賞。その後数々の映画、ドラマに出演。
1998年より、『大人と子供のための読みきかせの会』の代表をつとめ、幼稚園、小学校、養護施設、小児病棟などでの公演は現在までに1400回以上に及ぶ。アイデアいっぱいの大型絵本は、子供たちに大人気である。
2009年にスタートした小津安二郎監督映画を、ト書きから出演者全て一人で朗読する「音語り」シリーズ6作品を全国で公演中。2013年映画「じんじん」出演。
2015年人気小説あんを原作者ドリアン助川氏と二人で演じる「朗読劇あん」を初演。
2017年より翻訳絵本を取り上げる「おとな絵本の朗読会」をスタート。
エッセイ・絵本の翻訳本多数。2018年絵本翻訳本「ハンナとシュガー」2019年「メイがはじめてがっこうへいくひ」(イマジネイション・プラス)発売。

■松本峰明（ジャズピアニスト　作曲家　編曲家）

大学在学中より、数多くのバンドのピアニストとしてライブハウスに出演。
25歳より、テレビ、レコーディングの仕事を始める。
「夜のヒットスタジオ」「青春のポップス」「題名のない音楽会」などに出演。
ステージでは、オペラ歌手鮫島有美子、バイオリニスト川井郁子、阿川泰子、マリーンなど多数のアーティストと共演。
ジュディー・オングのコンサートではただ一人の日本人音楽家としてラスベガス公演に参加。海外からのアーティスト（リチャード・カーペンター、ライオネル・リッチーなど）日本公演のピアニストも勤める。
現在は服部克久率いる音楽畑オーケストラ「東京ポップスオーケストラ」にピアニスト、編曲家として参加。